

## 児童館、放課後児童クラブからの発信

児童館は、健全な遊びを通して子どもの健康増進や豊かな心を育むことをねらいとした施設で、地域における子どもの健全育成の拠点となっています。現在、全国で約4,600か所あります。

また、放課後児童クラブは、保護者が仕事等で昼間家庭にいない子どもに対して、学校の授業を終了した後に適切な遊びや生活の場を通して、子どもの健全育成を図ることをねらいとしたもので、現在、全国で約13,700か所あります。

子どもが、親子でふれあい、さまざまな人と出会い、交流することは、子どもが自分以外の人たちへの関心を深め、共感の能力を高め、地域の仲間づくりなどを進める上で重要なことです。このため、児童館では子どもの健全育成をねらいとしたさまざまな活動が進められています。平成15年度からは、中・高校生等が乳幼児と出会い・ふれあい・交流する機会や親子のふれあいの機会を増やすために、新たに「児童ふれあい交流促進事業」がスタートしています。

### 「親と子の食事セミナー事業」 ってなあに？

「児童ふれあい交流促進事業」の一つです。食事の楽しさや家族団らんの大切さなどを学ぶため、食事に関する講習会（食事セミナーなど）を行い、親子や親同士、子ども同士の交流を図ることをねらいとしています。

「食」に関するさまざまな取組が進められています。

- ★ さまざまな人・地域との交流の促進
  - ・親と子、親同士の交流を深める「親子クッキング」
  - ・調理のプロのお父さんに習う「親子料理」交流会
  - ・郷土食や地域産物を活用した、地域の食文化にふれる「わくわくクッキング」
  - ・地域老人クラブのお年寄りから「食」に関する知恵を学ぶ「わいわいクッキング」
- ★ 見て、作って、実践してみる活動
  - ・子どもが自分で作ってみる「おいしい夏休み（子どもたちの食事づくり）」
  - ・近くの畑を探検したり、食べ物や身体に関する話題やクイズ、エコクッキングなどを盛り込んだ「食育探検隊」
  - ・自分にぴったりあったおやつを選ぶ「おやつ探検」
- ★ 遊びを通しての活動
  - ・「遊びながら食を学ぶ すくすくカルタ」の活用
  - ・「食」をテーマにした絵本の読み聞かせ、人形劇の実施

児童館で「食」に関わって育った子どもが、講師になって登場することも。